

近年、農業における持続可能性(注1)と環境負荷に関する議論が盛んになっています。特に、農薬の使用とオーガニック農業の間には収量や価格の面で大きな違いがあり、それぞれの解決策には矛盾が生じることがあります。農薬を使用した従来の農業は収量を最大化する一方で、環境に対する負の影響が懸念されます。一方、オーガニック農業は環境負荷が少ないものの、収量が低く、価格が高騰しやすいという課題を抱えています。

以上を踏まえ、「農薬を使用する従来の農業」と「オーガニック農業」のどちらかの立場に立ち、もう一方よりも社会にとって有益であるという主張を八〇〇字程度で述べて下さい。なお、どちらの立場を選んだかによって、採点における評価が変わることはありません。

(注)

- 1 持続可能性：今の生活や活動が未来の人々や環境に悪影響を与えずに続けられる状態のこと。
- 2 オーガニック農業：化学的に合成された肥料や農薬を使わず、自然の力を活かして作物を育てる農業の方法のこと。

●書く際の注意点

始まり、本論、結論の流れを意識し、論点が明確になるように記述してください。また、文字数が限られているので、できるだけ論点を絞り込んでください。